
会 議 報 告

事業名	新型コロナウイルス対策本部会議（第11回）		
日時	令和2年8月1日（土）9:00~10:15	場 所	本庁2階 大会議室
出席者	【三役】（本部長）座間味秀勝、（副本部長）神里敏明、新崎直昌 【総務課】金城満、西田大河【観光産業課】玉城広喜 【民生課】新垣聡、尾崎リサ 【会計課】宇野昭子 【教育委員会】小嶺国土 【船舶課】我喜屋元作 【議会事務局】新里武広 【渡嘉敷診療所】山城啓太、吉崎真美 【交流の家】新里勝 【村議会議長】玉城保弘 【商工会関係】新垣徹、平田春吉、古波蔵善之介、田中守、大城秀幸、 （計21名参加）		
会議内容	① 沖縄県の緊急事態宣言発出に伴う本村の取り組みについて : 6/1以降9月までの期間、船舶の定員を半減し、週末のみ高速船を3便運航している。感染のリスクをおいながら経済活動を続けていかなければいけない状況において、乗船客の体温チェックやマスクの着用を呼びかけている。業種ごとのガイドラインを順守し、村民1人1人の感染予防が大事と考えている。村民の渡航自粛を加えることを検討していきたい。 : 明日から予定していた事業は中止。今後は村のガイドラインにそって従う予定。 : 乗船客でマスクの着用していない方への対策ができないか？ : 船員に巡回で声掛けの実施を伝えている。高速船では、テレビ画面でのテロップで流している。 マスクを着用していない方へは、マスクを配布。 本日より、とまりん中央出入り口にサーモグラフィーの設置。 : ガイドラインを順守し営業している。食事時間の制限等の対応をしている。 : 県の緊急事態宣言を受け、会員へアンケートを実施した結果、6割は現状のまま、4割は船舶の減便等自粛を考えてほしい。船舶の規制と同時に営業自粛などにもなる補償も検討してほしい。		

- : 今後感染者が増えていくことを考え、船の状況をそのまま
でいく場合、島に持ち込まないことを考えると、マスクの
着用を徹底する事が必要。
船舶の方からの声掛けと民宿等の事業者からの声掛けが
必要。
今後は、陽性者や疑いの人をどのように島から搬送するか
を考えないといけない。
感染者が出た場合の対応はどうか
- : みつしまの運航は、どちらかの島で感染者が出た場合は運
休することで調整中。
- : 島の人の場合は、新型コロナウイルス相談窓口へ電話して
いただいて、そこの指示に従って受診になる。診療所まで
は自分で行き、検査結果が出るまで自宅待機となる。陽性
で軽症の場合は、フェリーとかしきで搬送（家族のいる方
は自分たちで行く）。
観光客の場合は、TACO へ連絡して、宿泊事業者へお願い
したいと思っている。
- : 感染のリスクを考えると、疑いの人を島に残すことは島に
とって利点がない。そのことを念頭に搬送のフロー図を作
成している。
- : 軽症、疑い例も含めて、車での搬送が前提。
- : 疑いは、コールセンターが判断する。
疑いの場合は、その方が宿泊している事業者が実施してほ
しい。
- : 事業者には他の宿泊客もいるため対応できない。公共の施
設での隔離やレンタカー等での搬送を検討してほしい。
- : PCR 検査での費用負担はどうか。
- : 検査費用、搬送の費用は、ほぼないと考えていい。
- : マスクの着用に加えて、アルコールでの手指消毒も実施し
てほしい。
- : 不定期船（セルリアンブルー等）で来島者の対策はどうか。
っているのか。
- : ガイドラインでの今の状況を分かりやすく表示してほしい
- : 村からの情報発信を早めに実施してほしい

【今後の本村の取り組みについて】

- 船舶の運航はこれまで通り人数制限で実施し、感染予防を強化する。
- 村民の皆さんへは不要不急の渡航自粛を求める。
- 島外からの来島者へは、慎重な判断をしていただく。